

国語科学習指導略案

1年4組 28名 指導者 上原孝夫

本授業では、以下の検証を行うものである。
 言葉や挿絵を手掛かりにして、登場人物の行動を中心に場面の様子を想像を広げながら読むことができたか。

1 単元 想像を広げて読もう 「はなの みち」

2 指導計画 (総時数8時間)

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
つかむ 課題を	1 教材「はなの みち」の範読を聞いたり、挿絵を並べ替えしたりして物語のあらすじをつかむ。	1
	2 初発の感想を発表しながら学習のめあてを決め、教師と一緒に学習計画を話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「はなの みち」の ペープサート はっぴょうかいを しよう。</div> 【関：友達とかかわり合いながら、ペープサートを楽しもうとしている。】	1
情報をもとに 読み取る	3 叙述や挿絵をもとに、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読をする。	1
	4 挿絵や叙述をもとに、2の場面と4の場面の様子を比べ、想像を広げながら読む。	1
	5 叙述や挿絵をもとに、1～3の場面の登場人物(くまさん)の行動を中心に想像を広げながら読む。	1
主体的に 表現する	6 叙述や挿絵をもとに、4の場面の登場人物(くまさん)の行動を中心に想像を広げながら読む。 【読：叙述と挿絵を関連的に捉え、登場人物の行動を中心に場面の様子を想像を広げながら読んでいる。】	1 (本時)
	7 想像を広げながら読んだことを付け加え、発表会に向けたリハーサルを行う。 【読：想像を広げて読み取ったことを生かして、ペープサートの練習をしている。】	1
主体的に 表現する	8 ペープサート発表会を開き、感想を交流する。 【関：想像を広げて読み取ったことを生かして、楽しんでペープサートを演じようとしている。】	1

3 本時 (6/8)

(1) 目標

4の場面の叙述や挿絵をもとに、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができるようにする。

(2) 評価規準



叙述と挿絵を関連的に捉え、4の場面の登場人物(くまさん)の行動や会話を想像を広げながら読んでいる。 【読む能力】

(3) 指導に当たって

「つかむ・見通す」過程では、司会団(ペア)が進行を行いながら、学習計画表や挿絵を使って、1～3の場面の登場人物(くまさん)の行動を中心に想像を広げながら読んだことを振り返らせる。また、学習過程の短冊を使って、大まかな学習の流れを説明させ見通しをもたせる。本時では、4の場面の登場人物の行動を中心に想像を広げて読むことを確認させる。

「調べる」過程では、4の場面の叙述や挿絵をもとに、「季節が春になったこと」や「袋の中身が何か分かったこと」を踏まえながら、4の場面の登場人物(くまさん)の行動や会話を想像することの楽しさを味わわせていく。登場人物の行動や会話について想像を広げやすくするために、一人で自分の考えを書かせる際には、学習シート(登場人物への吹き出し)に書かせるようにする。また、ペアで考えを話し合ったり、みんなの前で発表したりする際には、ペープサート演じさせるようにする。ペープサートを演じさせる際に、様々な表情をした登場人物のペープサートの中から選択させることによって、登場人物の気持ちについても想像を広げさせていく。「設定」や「中心人物の変化」といった文学的文章教材の読み方を学ばせながら、登場人物の行動を中心に場面の様子を想像を広げながら読ませていく。

「まとめる・生かす」過程では、司会団が学習のまとめや振り返りを行う。本時の学習で分かったことや頑張ったこと、友達の頑張りを発表させたり、教師が具体的に称賛したりすることで、学習への意欲を高めていく。また次時では、ペープサートの役割分担をしたり、音読を工夫したりしながら、グループごとにリハーサルを行うことを確認し、活動への興味・関心を高めるようにする。

過程	時間	形態	主な学習活動と指導の手立て・評価	教材等	
つかむ	7	みんなで	1 司会団が前時までの学習を振り返る。 〔・くまさんは、ふくろのなかみをおとしてがっかりしていたね。〕	<p>学習計画表や学習過程の短冊を活用し、司会団と事前に打ち合わせをしておく。</p> 	<p>学習計画表</p> <p>各場面の挿絵</p>
			2 司会団が本時のめあてと進め方を確認する。 4のばめんを ペープサートで えんじよう。		
見通す	10	一人で	3 教師の補説を聞く。 〔・「あたたかい かぜ」や「はな」からはるがきたことがわかるね。 ・くまさんは、「はなの いっぽんみち」をみて、ふくろのなかみがわかったね。 ・くまさんは、ばんざいをしているよ。〕	<p>書き方のモデルを提示し、自分の考えを吹き出しに書きやすいようにする。</p> 	<p>学習シート</p>
			4 4の場面の登場人物（くまさん）の会話を想像して、吹き出しに書く。 4のばめんの くまさんは、どんなことを いうて いるのだろう。		
調べる	20	ペアで	5 ペアで話し合い、4の場面のペープサートの練習をする。 〔・くまさんがよろこんでいるように、よみみたいな。 ・くまさんがはなのみちをうれしそうに いるいているようにうごかさう。〕	<p>ペアでペープサートの練習をさせる際には、様々な表情をした登場人物のペープサートから選択させ、登場人物の気持ちについても想像を広げさせる。</p>	<p>4の場面の挿絵</p>
			6 ミニ発表を行い、それぞれの読みのよさを交流する。 (例) くまさんは、いいました。「ふくろには、はなのたねがはいっていたんだね。ふくろのなかみがわかってよかったよ。」 「はるがきて、はなのいっぽんみちができてうれしいな。」		
まとめる	8	みんなで	7 教師からまとめの補説を聞く。 〔・たねをおとしてから、とってもながいじかんがすぎていたんだ。あいだをあけてからよんだらいいね。〕	<p>「かかわり合い」を通した読みの深まりや司会団による進行の頑張りを称賛し、自信をもたせ、次時への意欲付けを図る。</p>	
			8 司会団が学習のまとめをする。 よみかたや くまさんの うごきをくふうすると、ばめんの ようすがよく わかる。		
振り返る			9 司会団が振り返りと次時の学習の確認をする。 〔・ともだちとれんしゅうして、たのしいペープサートにしたいな。〕		